

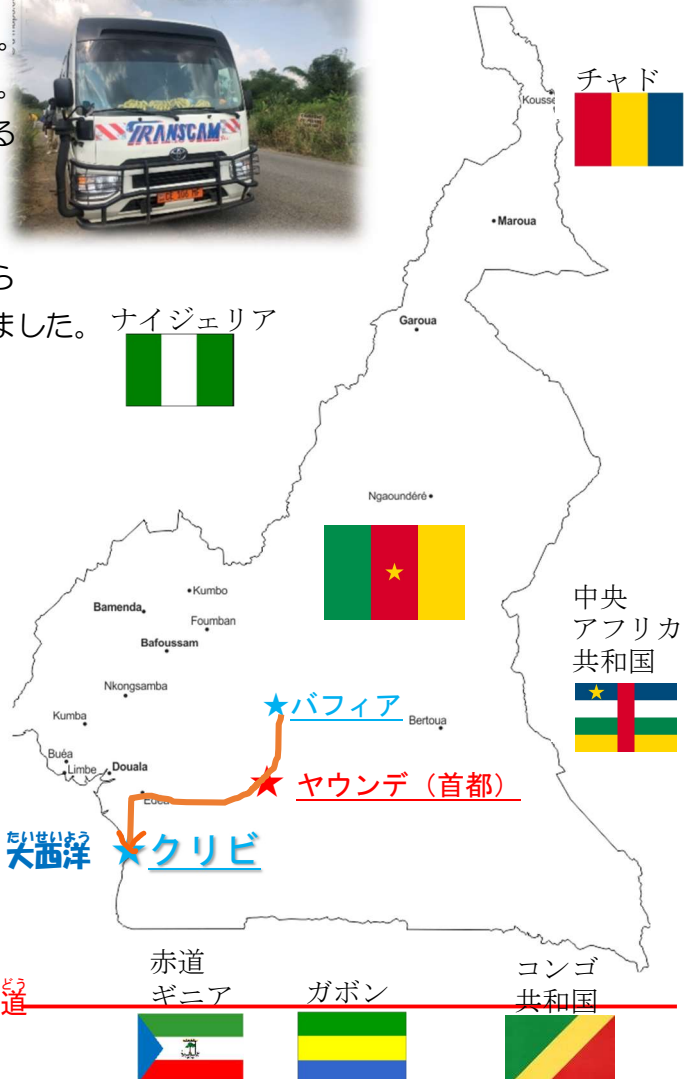
Voilà! C'est la vie!

ボ ア ネ
カメルーンからこんにちは
2023年1月 N°12 (douze)
ビ
JICA 海外協力隊 2021 年度 3 次隊 小島由紀子

Bonne année!!(あけましておめでとうございます)。カメルーンのお正月はあつという間に終わってしまいました。キリスト教の多いカメルーンは、お正月よりもクリスマスの方が大事です。学校も 12 月 17 日～1月 2 日までが、「クリスマス休み」。日本の冬休みのようなお休みです。クリスマスには、家族が集まって、みんなで教会に行ったあと、パーティーをしているおうちがたくさんありました。今年も、おたよりを通してみなさんにカメルーンのいろいろなことをお届けします！どうぞよろしくおねがいます。

カメルーンの南の地域へ!

私はクリスマス休みに、カメルーンに行ったことのない街へ行ってみました。バフィアから首都やウンデに出て、バスを乗りかえ、向かった先は、カメルーンの南にある、クリビという街。クリビは、赤道により近く、海に面している港町です。バフィアからクリビまでは、約300 km。地図で見ると、カメルーンのはんの一角ですが、札幌から稚内くらいまで、あるいは青森県から宮城県くらいまでの距離があります。ヤウンデまでバスで約3時間。さらにそこから約5時間、合計8時間近くバスにゆられてとうちゃくしました。



クリビに近づいてきたころ、バスの窓から見えたのは、ずーっと続く「アブラヤシ」。アブラヤシは私たちがよく利用するパーム油の原料です。ここは自然に生えたのではなく、森などを切り拓き人によって造られた「プランテーション」という大規模農園でした。「プランテーション」は熱帯や亜熱帯の地域に多くあり、カメルーンの沿岸部には紙の原料となる木のプランテーションもありました。
★「プランテーション」については、中学校で学習するかもしれませんね！気になる人は調べてみよう！

★地図帳やグーグルアースなどで
クリビやカメルーンの周りの様子を見てみよう！

うみ まち 海の街クリビにどうちゃく！！



大西洋に面するクリビ。じりじりと太陽の射すバフィアとは違って、日本の夏のようにおしおした暑さでした。港には、木で作った船がたくさん！漁業がさかんです。日本の支援でつくられた魚市場では、大きな魚やえび、かになど、バフィアでは見られないたくさんの海産物が並んでいて、活気がありました。砂浜には、地元の子もたちが木の下で木の実を食べながらのんびりすごしている、そんなすてきな場所でした。



赤道に近い森の中に住んでいる「ピグミー」とよばれる人たちの生活しているところにお邪魔しました。森の中へどんどん歩いていくと、突然現れた小さなおうち。葉っぱの屋根の上からビニールをかぶせて雨をよけているようでした。彼らは、森の木の実や畑の作物、狩猟でとった森の動物や川の魚などをいつも必要な分だけとって、生活しています。自然の恵みを大事にしながら、生活している姿がすてきでした。ピグミーは身長が低いといわれています。この日出会った方々は150cmの私と同じくらいでした！

日本よりも少し広い国カメルーン。日本と同じように、地域や街によって、生活や文化が少しずつちがっています。国の中にもさまざまな文化があるのはおもしろいですね！



カメルーンには「サナガ川」という、とても大きくて長い川があります。バフィアの近くも通ってきたこの川の水が海に流れていく河口の近くには、野生のチンパンジーが住んでいました。ボートに乗って、川の真ん中にある島に近づくと、チンパンジーの群れがたくさん出てきてくれました。日本では、動物園などでしか会うことのできないチンパンジーが、カメルーンには野生でいることにおどろきました！カメルーンでは、このチンパンジーたちを大切に守っていくための活動もしているそうです。



カメルーンでみーっけ!



この写真をじっくり見て考えてみよう! この子たちはどんなことをしているかな?



ある日の朝、歩いていたらこの子たちに声をかけられました。私が通う
幼稚園の子ども（左）とそのお姉さん（右）でした。2人とも手にはおな
べやバケツを持っています。赤いワンピースの妹は、**頭になべをのせて歩
いています**ね。ちょうど家のお手伝いで、なべに入っている野菜を細かく切
る機械のあるお店に行くところでした。



カメルーンではよく、**頭の上に重いものをのせて歩く人**
を見かけます。10 L (10 kg) の水、収穫した野菜を入れた大きな袋、
ときには畑などで見つけてきた火をたくための薪をたくさん^{のせて}いたり
する人もいます。道を歩きながら果物やちょっとした食べ物^を売って歩く人
たちも頭にのせています。



ひっくり返してしまわないのかな? そんなに重いものをのせて大変では
ないのかな? と、いつも思いますが、重いものを**手で持つよりも楽に持ち運
ぶことができる**そうです。私もやってみようとしたことがありますが、バ
ランスが取れなくて、上手にできませんでした。カメルーンの人たちはこ
のようにしながらまっすぐ歩くことができるのだからすごいです。写真の
赤いワンピースの女の子も大人のまねをして、うれしそうに頭にのせて
いました。みなさんは上手に頭にのせることができますか?

